

こちらはポジタルでも お持ち帰りできます



Xグルード以外は 標準装備なのがうれしい!

安心の録画機能を備え、スマートフォン再生にも対応。

#### ▶自動防眩インナーミラー(ドライブレコーダー付)

後続車のライトの眩しさを緩和するインナーミラーに、録画機能を搭載。車両前 方・後方のカメラ映像をSDカードに常時録画します。加えて、ユーザー操作の「手 動録画」、駐車後の一定時間を記録する「駐車時録画」、急ブレーキ等の衝撃を 検知し記録する「衝撃検知録画」の機能も搭載。SDカードを取り出せばPCやタブ レットで、Wi-Fiを接続すればスマートフォンの専用アプリ\*1で、録画映像の再生・ 保存が可能です。

「GR SPORT、Z、Gに標準装備。Xにメーカーオプション

先進的でクリーンなレイアウト。

#### ▶10.5インチディスプレイオーディオ



スタイリッシュなデザインが大好評! 「いし」がたくさん詰まったアクマです!

いつもの移動時間が、くつろぎの時間になる、快適な空間。







失進的で カッコイイ!

見やすさと先進性を両立したディスプレイ& メーター。

▶マルチインフォメーションディスプレイ(4.2インチカ ラーTFT液晶) + デジタルメーター (メーター照度コン トロール機能付)

多彩な情報を表示する高精細のTFT\*1カラー液晶画面 と先進的かつ視認性に優れたメーターを搭載しました。 \*1. TFT [薄膜トランジスタ]: Thin Film Transistor

## デザインと使い勝手がししい。



LEDデイライト点灯



LEDターンランプ点灯

明るく省電力のLEDをすべての光源に。

▶Bi-Beam LEDヘッドランプ(マニュアルレベリング 機能付) +LEDターンランプ+LEDクリアランスランプ (デイライト機能付)

ターンランプ点灯時に、デイライト、クリアランスランプを消灯して切り替えるダブルファンクションタイプを採用し、優れた被視認性を確保。すべての光源をLEDにすることで消費電力の低減にも寄与しています。

[Zに標準装備。GR SPORT、G、Xにメーカーオプション]



リヤスタイルを彩る流麗なデザイン。

▶リヤコンビネーションランプ(LEDライン発光テールランプ+LEDストップランプ+ターンランプ)

バックガラスからサイドに回り込むように伸びる、流麗 なコンビネーションランプ。ライン発光と乳白色のインナーレンズを用いたテールランプが、リヤビューの先進性を高めます。

[GR SPORT、Zに標準装備]



助手席アッパーボックス



フロントドアポケット& ボトルホルダー [1本] (両側)



フロントコンソール (スライド式スマホトレイ/カップホルダー2個付)



買い物アシストシート [Z、G、Xにメーカーパッケージオプション]

パッケージオアションですがオススメです!

LEDを使った ヘッドライトや テールランアが 個性光るアクマを 演出してくれます!

谷和のお気に入り!



## コンパクト車のポイトとして 小回りがきくって、重要ですよね

#### ▶最小回転半径

最小回転半径は、5.2mを実現。細い路地に入る時やU ターン時、車庫入れや縦列駐車時の取り回しがスムーズに行えます。

\*2.16インチタイヤ装着車および17インチタイヤ装着車の場合は、5.3m。

# かとりのスがししい。





■数値は社内測定値。測定箇所により数値は異なります。

積み降ろしをラクにする 広いラゲージ。

#### ▶使えるラゲージ

荷物の出し入れがしやすいよう、バックドアの開口長を拡大。さらに、奥行きも開口幅もしっかりと確保することで、ゆとりあるラゲージスペースとしています。



6:4分割可倒式リヤシート/両側倒し状態

荷物に合わせて大きなラゲージに。

#### ▶リヤシートアレンジ

可倒式リヤシートを前に倒せば、ラゲージ スペースがさらに拡大。長さや幅のある物 もラクに収まります。

## **元**電できるが し ) し ) 。

### 非常時に役立つ電源を全車標準装備の



センターコンソール後部

非常時に役立つ電源を全車標準装備。

#### **▶**C

#### (AC100V・1500W/非常時給電システム付)

コンセント (AC100V・1500W) を、センターコンソール後部に設置。非常時給電システムを使用することで、災害などによる非常時に電力が必要な時、車両の走行機能を停止した状態で、AC100Vで消費電力の合計が1500W以下の電気製品を使用できます。

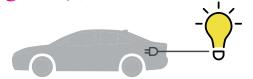


ドアと窓を閉めたまま 電源コードを出して給電。

#### ▶外部給電アタッチメント

野外でも安心して給電できるよう、ドアと窓 を閉めたまま電源コードが出せる外部給電アタッチメントを設定。車内への虫などの異物の侵入や、雨天時の水の浸入を予防します。

### の非常時に電気製品が使えます。 いざ!という時の備えにもなりますよね!



ガソリンを 電気に変換! 災害時に 役立つ電源!

#### 電力供給時間

約5.0日

(ガソリン満タン/消費電力400W時) ※アクアの場合

## SAFETY 安全装備が <sub>安全性能</sub>

#### しっかりと備えて、安全なドライブを。

先進の安全技術を連携させて、さまざまな走行シーンでドライバーを支援。 駐車操作をアシストする「高度運転支援」機能も設定。





## よく聞かれるアクアとヤリスの比較

ヤリス

シンプルでスタイリッシュな尹ザインの 丸みのあるボディラインや、ヘッドランアが上品で 落ち着いた印象の

アクアはハイブリッドモデルのみの パイポーラニッケル水素電池を採用したことで、 従来よりも長いEV走行が可能の

アクアのボディカラーは、モノトーンが11色、 ツートーンが6色の全17色の

ディスプレイオーディオは最大10.5インチ

躍動感がありアクティブなデザインの 吊り目のヘッドランプや大開口のフロント グリルがスポーティな印象の

ハイブリッドモデルとがソリンエンジン モデルがあるの がソリン車でおび出ストを抑えたいならヤリス!

ヤリスのボディカラーは、モノトーン8色と ツートーン3色の全11色の

ディスプレイオーディオは最大8.5インチ

非常時に役立つアクセサリーコンセント(100)電源)が ハイブリッド車にメーカーオアションの

非常時に役立つアクセサリーコンセント(100V電源)を 全車標準業備。

#### アクア 7 ZWDの場合

全長	全幅	全高	最小 回転半径	火然 費 WLTC モード
4,050mm	1,695mm	1,485mm	5.Zm	33.6km/L

#### ヤリスHEV 7 ZWDの場合

全長	全 幅	全高	最小 回転半径	火然 貴 WLTC モード
3,950mm	1,695mm	1,495mm	5.1m	35.4km/L

### 豊富なカラーバリエーションから選べます!





プラチナホワイトパールマイカ〈089〉 [2YP]

ポップオレンジクリスタルシャイン〈4W5〉[2YR]



アスタッフ推し!

- D	ハイ ノリット単		
	2WD	E-Four	
メーカー希望 小売価格 (消費税抜き)	2,565,000 円 (2,331,818 円)	2,763,000 円 (2,511,818 円)	



 
 2WD
 E-Four

 メーカー希望 小売価格 (消費税抜き)
 2,146,000 円 (1,950,909 円)
 2,344,000 円 (2,130,909 円)

ハイブリッド車



	/パラック・半			
	2WD	E-Four		
メーカー希望 小売価格 消費税抜き)	2,294,000 円 (2,085,455 円)	2,492,000 円 (2,265,455 円)		



**GR SPORT** 

ハイブリッド車 2WD メーカー希望 小売価格 (消費税抜き) 2,659,000 円 (2,417,273 円)

<Z,G  $\cdot$ 2WD>

WLTC == 燃料消費率 (国土交通省審査値)

33.6 km/L\*3

G

市街地モード :34.3km/L郊外モード :36.0km/L高速道路モード :31.8km/L

<X $\cdot$ 2WD>

LTC == 燃料消費率(国土交通省審査値)

ハイブロッド市

34.6 km/L\*3

市街地モード :35.7km/L 郊外モード :37.6km/L 高速道路モード :32.4km/L <GR SPORT>

WLTC E-F 燃料消費率 (国土交通省審査値)

29.3 km/L

市街地モード :31.0km/L郊外モード :30.9km/L高速道路モード :27.7km/L

<Z,G,X  $\cdot$ E-Four>

WLTC 共 燃料消費率 (国土交通省審査値)

 $30.0~{}_{
m km/L}$ 

市街地モード :32.0km/L郊外モード :31.1km/L高速道路モード :28.5km/L

■燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

■WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。

